

2017年度 電子情報通信学会 第2回 SWIM 専門委員会 議事録

開催日時：2017年9月4日（月） 11：00～13：00

場所：機械振興会館 1階102号室

出席者（敬称略）：宇田川、丸山、五月女、片岡、小松、能上、堀米、荻野（議事録）

議題：

1. 2018年度計画
2. 功労賞他の推薦
3. 技法電子化トライアル
4. 活性化方針
5. その他

議事：

1. 2018年度の研究会の年度計画案

- ① 来年度の各研究会の開催予定・テーマ案
2017年度同様、年4回開催する

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ペー ジ数 予定	備考
第1回 研究会	5月19 日(土)	機 械 振 興 会 館		1 月 中 旬	3 月 16 日(金)	5	30	デジタルエコノ ミーとインタプ ライズ、一般
第2回 研究会	8月24 日(金)	法 政 大 学	五月女	5 月 初 旬	6 月 15 日(金)	6	36	ソサエティ 5.0 に向けたサービ スコンピューテ ィングとインタ プライズモデル 化技術(仮)、一 般
FIT 2018	9 月 上					--	--	
第3回 研究会	12月1 日(土)	東 京 理 科 大	能上	7 月 中 旬	9 月 21 日(金)	8	64	経営と IT、一般 (ワークショップ)
第4回 研究会	2月22 日(金)	機 械 振 興 会 館		11 月 下 旬	12 月 7 日(金)	8	50	ビジネス評価と 信頼性、学生セ ッション、一般
2018 総合	3月15 日頃	未定			未定	--	--	
					合計	27	180	

- ・ 第1回の日程を土曜日にする。
- ・ 第2回はSCとの共催を打診する。専門委員会は、9月4日とする。
- ・ 第3回のCFPを前倒しにする。日程について、今回は会場の都合で12月とするが、次年度からは11月で検討する。
- ・ 第4回はKBSEとの共催を打診する。
- ・ テーマは見直す。共催の回は、先方と調整する。
- ・ 第1回と第4回の世話人は、次回の専門委員会で決定する。

② 2018 年度専門委員会計画案

	日時	開催場所	テーマ
第 1 回専門委員会	5 月 19 日(土)	機械振興会館	年度実行計画 FIT2018 フォロー
第 2 回専門委員会	9 月 4 日(金)	機械振興会館	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2019 年度事業計画
第 3 回専門委員会	12 月 1 日(土)	東京理科大	2018 年度体制 総合大会フォロー
第 4 回専門委員会	2 月 22 日(金)	機械振興会館	論文賞選考委員会の立ち上げ 2019 年度新体制の提出

- ・ 委員長、副委員長ともに出席できない場合には、日程調整または Skype 利用を検討する。

2. 功労賞他の推薦

- ・ 今年度は功労賞の推薦はなしとする。
- ・ 功労賞は専門委員会の推薦が通らない場合もあるので、推薦文はきちんと書く必要がある。

3. 技法電子化トライアル

- ・ 第 3 回の研究会から電子化トライアルを行う。研究会の冒頭で、論文ダウンロードの仕方等の説明を行う。

4. 活性化方針

4.1 キーワード作成の件 (片岡先生)

- ・ 過去 3 年の発表論文からキーワードを拾って分析した。
- ・ 大分類として「デジタルエコノミー技術」を追加する。(キーワード全部は付録に記載)
- ・ 個別のキーワードの修正は別途メールで議論する。

4.2 松本先生提案の議論の継続の件

- ・ 引き続きメールで議論する。

5. その他

- ・ 第 3 回の基調講演は、理科大の平塚先生に依頼

以上

付録

キーワード一覧

1. ネットワーク価値連鎖系(ビジネス IT アラインメント型インタプライズ)モデル形成技術

- ・ ビジネス構想技術(ビジネス要件定義, ビジネスオントロジ定義, ビジネスモデル分析, ビジネスルール分析, ビジネスプロセス分析)
- ・ 情報システム設計技術 (ビジネスアーキテクチャ, データアーキテクチャ, ビジネス IT アラインメント),
- ・ ソフトウェア検証技術
- ・ 運用技術(変更管理, モデル模擬試行, Alert, What-If 機能, Value-Line Asset 再利用, 意思決定促進, Empirical 比較研究)

2. デジタルエコノミー技術

- ・API エコノミー ・クラウドソーシング ・コミュニケーションデザイン
- ・プラットフォームビジネス ・共有価値創造 ・共有経済 ・再配分市場
- ・サイバースペース ・サイバーフィジカルシステム (CPS) ・ソーシャルサイバースペース
- ・包括的富指標 ・スマートシティ ・スマートシティ国際標準化 ・企業システムと組織
- ・マート社会 ・都市 OS ・ビッグデータ ・IoT ・IoE ・エコシステム

3. 基盤技術(1, 2 実現のための技術)

- ・クラウドコンピューティング ・モデル駆動型データベース ・トランザクション処理
- ・SQuaRE ・ソフトウェア品質モデル ・アーンドバリュー分析 ・プロジェクト管理
- ・リスク管理 ・極大頻出系列 ・MDA ・ソフトウェア開発 ・Web 利用基盤
- ・成熟診断モデル